



SPIDER V ファミリー

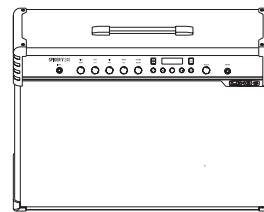
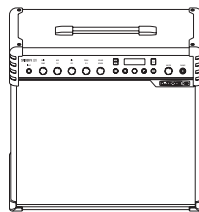
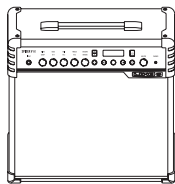
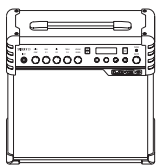
SPIDER V 30

SPIDER V 60

SPIDER V 120

SPIDER V 240

パイロットガイド ▶



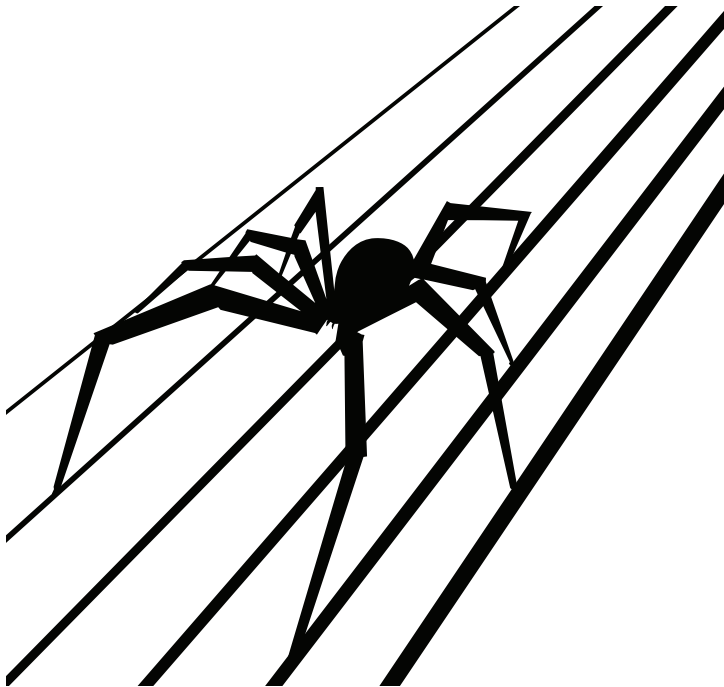
SPIDER V 比較チャート

特徴	Spider V 30	Spider V 60	Spider V 120	Spider V 240
アンプモデル	78	78	78	78
キャビネットモデル	23	23	23	23
エフェクトモデル	101	101	101	101
アンプワット数	30W	60W	120W	240W (120W 片側)
モノ/ステレオ	モノ	モノ	モノ	ステレオ
スピーカーサイズ	1 x 8"	1 x 10"	1 x 12"	2 x 12"
によるツイート	1	1	1	2
XLR ダイレクト出力	いいえ	いいえ	はい	はい
USBオーディオインターフェース	はい	はい	はい	はい
ヘッドフォン出力	3.5mm ステレオ	3.5mm ステレオ	6.3mm ステレオ	6.3mm ステレオ
FBV サポート	はい	はい	はい	はい
デモループ	はい	はい	はい	はい
メトロノーム	はい	はい	はい	はい
ルーパー	いいえ	はい	はい	はい
Relay ワイヤレス対応	いいえ	はい	はい	はい

概要

SPIDER Vパイロットガイドへようこそ! 本書には**SPIDER V**の基本的な特徴と機能が記載されています。

SPIDER VはSpiderファミリーの5世代目となるギターアンプです。コンパクトなボディにLine 6の多彩で優れたアンプモデリングが搭載されています。ここで**SPIDER V**に内蔵されたいくつかの新しい機能の概要を説明します。



特徴:

- 200以上のアンプとエフェクトモデル
- エレキギター、アコースティックそして音楽再生で最高のトーンを実現するフルレンジ・スピーカースystem
- 3種類のスマートFXを含む8種類の同時エフェクト
- **RELAY G10T*** (別売り)対応の内蔵**Line 6 Relay**ワイヤレスレシーバー
- XLR ダイレクト出力*
- **FBV**ペダルは Line 6 FBV 3, FBV Shortboard MKII, FBV EXPRESS MKII (別売り)に対応
- 内蔵チューナー、メトロノーム、ドラムループ、デモリフとクイックルーパー*
- アコースティックギター専用プリセット
- USBオーディオインターフェース: Mac/PC/iOS及びAndroid**で再生
- Mac及びPC用Line 6の**アップデーター**または、iOS及びAndroid用**Spider Remote**アプリの使用により、ファームウェアはアップグレード可能です。
- 標準Lightningケーブルで iOS機器に接続可能
- ステレオヘッドフォン出力
- MP3やその他オーディオソース用の3.5mm AUX入力

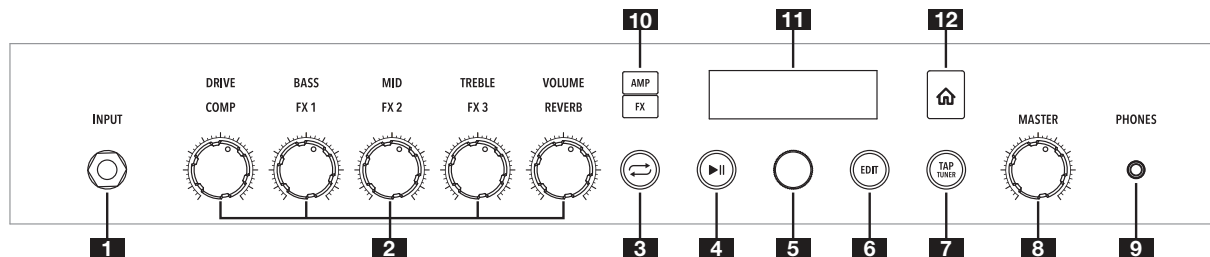
Spider Remoteアプリ

- クラウドにアクセスし、何千ものトーンを検索
- 作成、保存、そして無限数のギタートーンを共有
- 完璧なサウンドを得るための詳細なトーン調節が可能です。

* 選択したモデルで使用可能 Spider Vの各モデルの特徴は以下の比較チャートを参照してください。

** ハイパフォーマンスオーディオに対応する、Android OS 5.0以降のバージョンが必須です。詳細はline6.com/androidをご覧ください。

フロントパネルコントロール

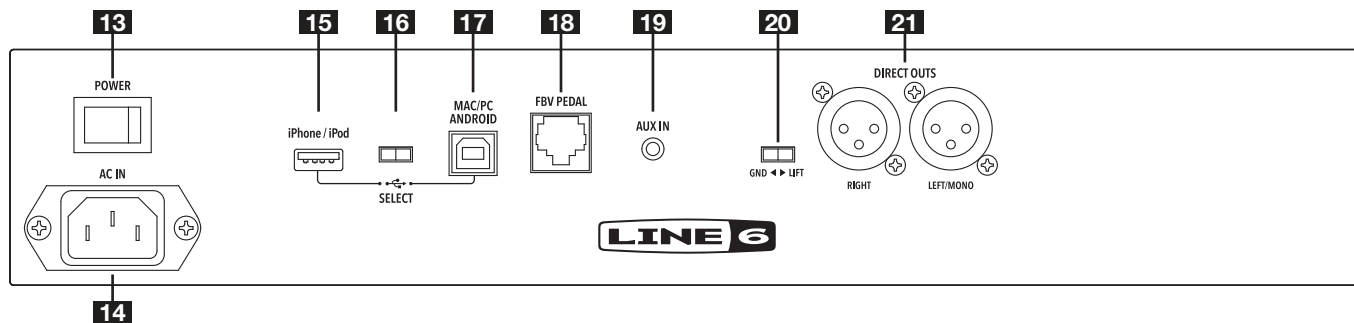


- 1. INPUT 端子** - ここにギターケーブルを接続します。Relay G10TはSPIDER V*のINPUT端子へ差し込むことで**充電可能です**。
- 2. AMP/FXノブ** - AMP レイヤー: Drive は他のアンプのボリュームまたはゲインノブと同じ機能を持っています。これを調節することでサウンドにどれだけの「濁り」や「歪み」を与えるかを設定します。**Bass**、**Mid**と**Treble**は各アンプモデルで最適なトーンに設定してカスタマイズすることができます。AMPレイヤーをアクティブにした状態でこれらのノブのどれかを回すと、画面にDrive、Bass、Mid、Trebleや **ボリューム** セットアップが表示されます。
FX レイヤー: **FX1**、**FX2**及び**FX3**は、**黄色** をディストーションやコンプレッションに、**青色** をモジュレーション、**緑色** をディレイ、そして**紫色** をピッチとシンセといった具合に色で識別して設定することができるスマートFX です。**COMP**はボリュームブースターまたはレバラーとして使用することができます。**REVERB** は好みに応じて増減可能であり、多種多様なモデルの中から選択することができます。これらのエフェクトの割り当てはエディットメニューから行なうか、または**Spider Remote**アプリを使用して割り当てすることもできます。FXレイヤーをアクティブにした状態でこれらのノブのどれかを回すと、現在のサウンドにかかるエフェクトの量が瞬時、画面に表示されます。
- 3. クイックループボタン*** - クイックルーパーモードを起動/終了する際に押します。
- 4. 再生/ポーズボタン** - メトロノーム/ドラムループまたはギターデモのリフを開始または停止します。
- 5. ローター/プッシュボタンノブ** - メモリーのビュー画面で、現在のメモリーをコントロールする際にこのボタンを使用します。現在のセッティングを**保存**する場合はこのボタンを長押しします。パラメーターを編集する場合は、エディットモードの状態でのボタンノブを回してパラメーターリストをスクロールし、パラメーターを選択してボタンを押します。ノブを回してパラメーター値を変更し、もう一度押しとスクロールに戻ります。プレイバック画面を表示させた状態でこのボタンを使用すると、別のドラムループ、デモリフやプレイバックパラメーターを選択することができます。
- 6. EDITボタン** - このボタンを押してプリセットを開き、そのエフェクトブロックとパラメーターを画面に表示させて編集します。
- 7. TAP/TUNERボタン** - 長押ししてチューナーにアクセスします。もう一度押しして終了します。音楽に合わせてこのボタンをタップすることで、ディレイのテンポとモジュレーションエフェクトを設定します。
- 8. MASTER ノブ:** - アンプとヘッドフォン(接続時)の全体の音量を設定します。
- 9. PHONES 端子** - ここにステレオヘッドフォンを接続します。ヘッドフォンが接続されている場合、スピーカーはミュートされます。この端子はダイレクト出力としても使用します。ステレオケーブルを使用してミキサーや録音機器と接続します。
- 10. AMPとFXボタン** - AMPレイヤーまたはFXレイヤーのどちらかを選んで押します。

11. **LCD画面** - 現在のプリセット、ノブの位置、スマートFX値とそのエディターパラメーターを表示します。

12. **ホームボタン** - このボタンを押すと、どのメニューからでもホーム画面に戻ります。

リアパネルの接続



13. **POWER スイッチ** - SPIDER Vの電源をオン/オフに切り替えます。

14. **AC IN** - 同梱の電源ケーブルをここに接続します。電気情報については、リアパネルに記載されている表示をご覧ください。

15. **iOSポート (USB A)** - ここに標準Lightningケーブルを使用してiOS機器を接続し、トーンの編集、アップデート、再生、そしてオーディオを録音します。このポートから機器に電源を供給することができます。この端子にiOS非対応機器を絶対に接続しないでください。

16. **USB SELECT スイッチ** - USB AとUSB B端子間で切り替わります。一度に使用するポートは1つのみです。

17. **Mac/PC/Androidポート (USB B)** - Mac/PCまたはAndroid機器 (OTG アダプター使用) を接続してトーンの編集、アップデート、再生、そしてオーディオを録音します。

18. **FBV PEDAL** - Line 6 FBV Express MkIIフットコントローラーを接続することで、プリセットの切り替え、タップテンポ、ボリューム/ワウコントロールやチューナー機能へアクセスすることができます。Line 6 FBV 3またはLine 6 FBV Shortboard MkIIコントローラーを

接続することで、プリセットの切り替え、エフェクトのオン/オフ、ワウ/ボリュームペダル、クイックルーパー、チューナー、タップテンポを操作することができます。

19. **AUX IN** - AUXオーディオ入力はパワーアンプとスピーカーヘサウンドをルーティングさせます。

20. **GND-LIFT*** - XLRダイレクト出力用のグラウンドリフトスイッチです。

21. **DIRECT OUTS*** - XLRケーブルを接続してオーディオをPA、ミキサーやオーディオインターフェースへルーティングさせます。ヘッドフォンが接続されている場合を除き、出力レベルは**MASTER**ノブで減衰することはありません。

* 選択したモデルで使用可能 Spider V の各モデルの特徴は比較チャートを参照してください。

メモリーの選択

1. **ホーム**ボタンを押せば、いつでもホーム画面に戻ることができます。ホーム画面にはプリセット名と位置が表示されています。
2. LCD画面下の**ロータリーノブ**を回して、メモリーリストを表示させます。

セッティングの保存

1. Save画面が表示されるまで**ロータリーノブ**を**長押し**します。
2. メモリー名を編集する場合は、**ロータリーノブ**を回して文字を選択します。
3. **ロータリーノブ**を**押す**と、文字がハイライトで表示されます。
4. 文字を変更するときは**ロータリーノブ**を回します。
注意: **TAP/TUNER**ボタンを押せば、大文字、小文字、数字/記号に切り替えることができます。
5. プリセットの保存を終了する場合は、**ロータリーノブ**を**長押し**します。

別のメモリーにサウンドを保存する

1. Save画面が表示されるまで**ロータリーノブ**を**長押し**します。
2. **ロータリーノブ**を**回す**と、番号/バンクに下線が表示されます。**ノブ**を押して回し、目的の箇所を選びます。これにより、目的とした箇所のセッティングが上書きされます。

別のアンプモデルを選択

1. **AMP**ボタンを押してAMPレイヤーを選びます。
2. **AMP**ボタンをもう一度押してアンプリストを開きます。
3. **ロータリーノブ**を回して別のアンプモデルを選びます。

スマートFXを使う

SPIDER Vには内蔵コンプレッサー、リバーブエフェクトに加え、プリセット毎に割り当て可能な3種類のスマートFXが搭載されています。割り当て可能なスマートFXとしてドライブ(黄色)、モジュレーション(青色)、ディレイ(緑色)、ピッチ/シンセ(紫色)が用意されています。

1. **FX**ボタンを押してFXレイヤーを選びます。フロントパネルのラベルが、それぞれのエフェクトタイプに伴った色で点灯します。
2. エフェクトの量の増減は5つのノブのいずれかを回します。エフェクトの量はLCD画面に表示されます。

他のFXモデルを選ぶ

1. **FX**ボタンを押してFXレイヤーを選びます。
2. 変更したいエフェクトがある場合は、**ロータリーノブ**を回してハイライトで表示させます。
3. **FX**ボタンをもう一度押してFXリストを開きます。
4. **ロータリーノブ**を回してFXモデルを選びます。
5. 終了する場合は、**ロータリーノブ**または**Home**ボタンを押します。

他のエフェクトを選ぶ(ショートカット)

1. **FX**ボタンを押してFXレイヤーを選びます。
2. 変更したいエフェクトのノブを回します。エフェクトの量は、そのエフェクト名と共にLCD画面に表示されます。情報の表示は3.5秒で終了します。
3. **ロータリーノブ**を回してFXモデルを変更します。
4. スマートFX画面を終了させる場合は、**ホーム**ボタンを押すか、そのまま表示が終了するまで待ちます。

スマートFXをバイパスする

1. FXボタンを押してFXレイヤーを選びます。
2. バイパスさせたいエフェクトがある場合は、**ロータリーノブ**を回してハイライトで表示させます。
3. **ロータリーノブ**を押して、ハイライトさせたエフェクトをバイパスさせます。
4. 終了する場合は**ホーム**ボタンを押します。

クイックルーパーを使う*

Quick Looperモードへ入るときは、**Quick Loop**ボタンを押します。

ループを録音する場合:

1. 録音を開始するときは**QUICK LOOP**ボタンを押します。これにより、ループの開始位置が設定されます。
2. 再生を開始するときは、**QUICK LOOP**ボタンを押します。これにより、ループの終了位置も設定されます。
3. **QUICK LOOP**ボタンを2度押しすると再生が終了します。

オーバーダビング:

1. ループの再生中に**QUICK LOOP**ボタンを押してオーバーダビングの開始位置を設定します。
2. **QUICK LOOP**ボタンを押してオーバーダブを停止し、再生を開始します。
3. **QUICK LOOP**ボタンを2度押しすると再生が終了します。

再生を終了させるときは**QUICK LOOP**ボタンを2度押しします。

ループを消去するとき、**QUICK LOOP**ボタンを長押しして録音箇所を消去します。

FBV Shortboard MKII側で **FUNCTION 2**を使用することでクイックルーパーモードの起動/停止を行ないます。

ドラムループの再生

1. プレイバック画面にアクセスする場合は、**再生/ポーズ**ボタンを押します。
2. **ロータリーノブ** を回して左側のアイコンへ画面をスクロールさせてノブを押すと、音符アイコンへ表示が変わります。
3. **ロータリーノブ**を使用してDrum Loopパラメーターをハイライトし、どのグルーブを演奏するかを選んでからそのボリュームをコントロールします。
4. ドラムループを開始または停止するときは、**再生/ポーズ**ボタンを押します。

メトロノームを使う

1. プレイバック画面にアクセスする場合は、**再生/ポーズ**ボタンを押します。
2. **ロータリーノブ** を回して左側のアイコンへ画面をスクロールさせてノブを押すと、メトロノームアイコンへ表示が変わります。
3. メトロノームを開始または停止するときは、**再生/ポーズ**ボタンを押します。
4. 終了する場合は**ホーム**ボタンを押します。

デモサンプルの再生

1. プレイバック画面にアクセスする場合は、**再生/ポーズ**ボタンを押します。
2. **ロータリーノブ**を回して左側のアイコンへ画面をスクロールさせます。**ロータリーノブ**を押してギター/テープアイコンを表示させます。
3. **ロータリーノブ**を使用し、Demo Riffパラメーターをハイライトさせてリフを選びます。

4. デモを開始または停止するときは、**再生/ポーズ**ボタンを押します。
5. デモリフの再生中に、**プリセット**を変更たり、**アンプモデル**と**エフェクト**を変更することができます。
6. 終了する場合は**ホーム**ボタンを押します。

* 選択したモデルで使用可能 Spider V の各モデルの特徴は比較チャートを参照してください。

Relay G10T ワイヤレス充電と同期*

1. **Relay G10T**トランスミッターを **INPUT**端子に差し込みます。SPIDER Vは利用可能で最適なチャンネルを選び出し、トランスミッターを充電します。
2. 数秒後には、トランスミッターを使用する準備が整ったことを知らせるチェックマークが画面上に表示されます。Relay G10Tを外してギターに差し込みます。
3. Relay G10Tが確認されると、その**電池寿命**もまたホーム画面に表示されます。バーが3本表示されている場合、バッテリーがフルである事を意味します。
4. トランスミッターを充電できるように、必ず**SPIDER V**を電源に差し込んで電源を入れてください。

編集

1. **EDIT**ボタンを押します。
2. **ロータリーノブ**を回してパラメーターリストをスクロールします。
3. パラメーターを選択するときは、**ロータリーノブ**を押します。
4. パラメーターを変更するときは**ロータリーノブ**を回します。
5. **ロータリーノブ**をもう一度押すと、リストをスクロールできる画面に戻ります。
6. 終了する場合は**ホーム**ボタンを押します。

グローバルセッティングとワイヤレスチャンネルの選択

1. Global Settings画面にアクセスする場合は、**ホーム**ボタンを長押しします。
2. **ロータリーノブ**を回してセッティングをスクロールします。
3. セッティングを選択するときは、**ロータリーノブ**を押します。
4. セッティングを変更するときは**ロータリーノブ**を回します。
5. **ロータリーノブ**をもう一度押すと、リストをスクロールできる画面に戻ります。
6. 終了する場合は**ホーム**ボタンを押します。

FBV フットコントローラーを使う

1. **Line 6 FBV** コントローラーをSPIDER V背面の**FBV PEDAL**端子へ差し込みます。
2. **Bank ▲/▼**と**A, B, C**または**D**を押してメモリーを選びます。
3. フットスイッチの2列目を押してエフェクトバイパスをコントロールします。その他の詳細と機能については、お手持ちの**FBVのパイロット・ガイド**、またはLine 6のウェブサイトへアクセスしてください。
4. ペダルトウスイッチを押してワウエフェクトを起動させます。
5. **FUNCTION**ボタンを押してルーパー録音、オーダーダブ、再生をトリガーさせます。

* 選択したモデルで使用可能 Spider V の各モデルの特徴は比較チャートを参照してください。

留意:

Line 6, Spider と Relay は米国および他の国々で登録されたLine 6, Inc. の商標です。FBVIはLine 6, Incの商標です。無断複製禁止。

MacとLightningは米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。iOS とは米国および他の国々で登録されたCiscoの商標です。Android はGoogle, Incの商標です。

シリアル番号: _____